

v6 プラスの一時停止方法

NTT 東西のホームゲートウェイをご利用の場合に v6 プラスの IPv4 通信を一時停止する方法をご説明します。

一時的に従来の PPPoE 方式の接続を使いたいときなどに、この方法で無効化されている PPPoE 接続の設定を有効化できます。

停止すると、PPPoE 接続をするか、または v6 プラスを再開するまで、IPv4 が必要なすべてのインターネットコンテンツにアクセスできなくなりますのでご注意ください。

ここでは例として NTT 東西のホームゲートウェイ PR-400 シリーズにおける手順で説明します。

まずウェブブラウザで「<http://ntt.setup:8888/t/>」または「<http://192.168.1.1:8888/t/>」にアクセスしてホームゲートウェイの設定画面を開きます。(ホームゲートウェイの IP アドレスを変更している場合は、**192.168.1.1** の部分を変更した IP アドレスに置き換えてください。)

設定画面で「IPv4 設定」を選択します。



画面左のメニューから「高度な設定」を選択します。



初回のみ、設定のためのユーザ名とパスワードを決めるように要求されます。

それぞれ任意のものを入力し、忘れないようにします。

新しいユーザ名	<input type="text"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード(確認)	<input type="password"/>

ユーザ名とパスワードでログインすると高度な設定の画面が表示されます。

「IPv4 の一時停止」の欄にある機能停止のチェックボックスにチェックを入れて、設定ボタンを押します。

IPv4設定		高度な設定	
ソフトウェアバージョン 1.2.0			
<ul style="list-style-type: none">● Top● IPv4/パケットフィルタ設定● 静的NAPT設定● 高度な設定● ユーザ名/パスワードの変更			
		【タイムアウト設定】	
TCP[Established] [初期値:300]	<input type="text" value="300"/>	秒	
TCP[FIN/RST](time_wait) [初期値:1]	<input type="text" value="1"/>	秒	
UDP [初期値:30]	<input type="text" value="30"/>	秒	
ICMP [初期値:5]	<input type="text" value="5"/>	秒	
その他プロトコル [初期値:300]	<input type="text" value="300"/>	秒	
		【UPnP-IGD設定】	
UPnP-IGD設定	<input type="checkbox"/>	使用する	
		【Ping応答設定】	
Ping応答設定	<input checked="" type="checkbox"/>	使用する	
		【IPv4 ON/OFF設定】	
IPv4の一時停止	<input checked="" type="checkbox"/>	機能停止	
		<input type="button" value="設定"/>	
		【固定アドレス設定】	
IPv4アドレス	<input type="text"/>		
		<input type="button" value="設定"/>	

これで v6 プラスの IPv4 通信が停止します。(IPv6 通信は継続します。)

v6 プラスの再開方法

v6 プラスの IPv4 通信を再開するには、停止時と同じ手順で高度な設定の画面を開いて「IPv4 の一時停止」の機能停止のチェックボックスからチェックを外してから、設定ボタンを押します。